

<p>【技術の名称】 SATコラム工法 ースラリー系機械攪拌式深層混合処理工法ー (改定1)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第18-28号 改1 性能証明発効日：2022年4月27日 性能証明の有効期限：2025年4月末日</p> <p>【取得者】 積水ハウス株式会社 太洋基礎工業株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本技術の特徴は、三角形断面の攪拌翼と二段に配置した共回り防止翼を有する掘削攪拌翼を用いることである。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第18-28号 (2019年4月10日)
 改定1：GBRC 性能証明 第18-28号 改1 (2022年4月27日)
- ・ 施工サイクルの適用区分の変更
 - ・ 小規模建築物に適用する設計基準強度のただし書きを追加
 - ・ 最大施工深さのただし書きを追加

【技術開発の趣旨】

機械攪拌式深層混合処理工法では、粘性の高い地盤が攪拌翼に付着して一緒に回転する共回り現象を低減するために、共回り防止翼の形状や機構に独自の工夫が施されている技術が多い。本技術は、共回り防止翼を二段に配置するとともに三角形断面の攪拌翼とすることで、共回り現象を低減して改良体の品質の向上と施工機の負荷の低減を図っている。



写真-1 掘削攪拌ヘッド

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「SATコラム工法 施工管理指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて 500～2500kN/m² の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層、粘性土層およびローム層で25%を採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

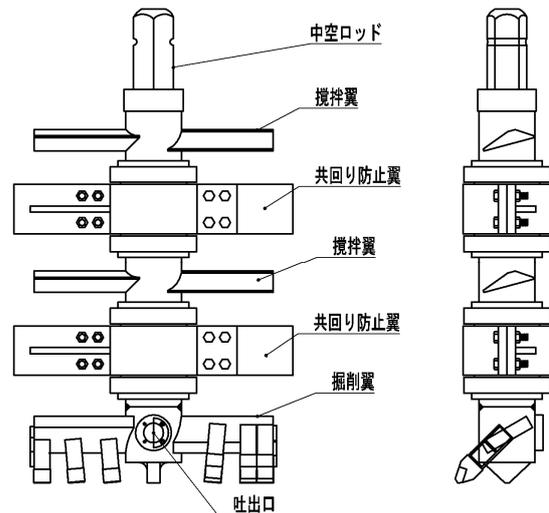


図-1 掘削攪拌ヘッド

表-1 適用範囲

改良形式	杭形式、ブロック形式、壁形式	
適用構造物	建築物、土木構造物、擁壁および工作物	
適用地盤	砂質土、粘性土、ローム	
適用建築物	小規模建築物	小規模建築物以外
最大改良長	15m	20m
コラム径	φ 400～600mm	φ 400～1600mm
設計基準強度	1000kN/m ²	500～2500kN/m ²
変動係数	25%	

【本技術の問合せ先】

積水ハウス株式会社 担当者：平野 成志
 〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番88号
 太洋基礎工業株式会社 担当者：米村 建
 〒454-0871 愛知県名古屋市中川区柳森町107

E-mail：hirano038@sekisuihouse.co.jp
 TEL：06-6440-3653 FAX：06-6440-3683
 E-mail：yonemura-ken@taiyoukiso.co.jp
 TEL：052-362-6351 FAX：052-362-6398